

## 薬歴と検査値を確認することで副作用の発現を回避

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は薬歴と検査値を確認することで、今後起こりうる副作用を想定し事前に回避した事例のプレアボイド報告を紹介いたします。

### 患者背景

・僧房弁閉鎖不全症に対し弁置換術後の患者。

RP1) アミオダロン塩酸塩速崩錠 100mg 2錠 朝夕食後

RP2) フロセミド錠 20mg 2錠 朝夕食後

血液検査結果：血清カリウム値 2.9mmol/L

Fさん



カリウム値が下がっているなあ。  
内服している薬剤は...  
アミオダロンとフロセミドか。  
アミオダロンはカリウム値の低下によって  
QT延長が懸念される薬剤。  
今後カリウム値がさらに減少するのを防ぐ  
ためとアミオダロンの副作用発現防止のために  
カリウム製剤の投与を提案してみよう。

カルテを確認



薬剤師

先生。Fさんのカリウム値が下がっていますね。

そうですね。下がっていますね。

まだ食事摂取ができていないのも影響していると思いますが、フロセミドも服用されていますね。  
アミオダロンはカリウム値の低下によって  
QT延長の副作用が出てくることが考えられます。  
カリウム製剤を追加してはいかがでしょうか。

そうですね。フロセミドは中止できないので、  
アスパラカリウム散を開始しましょう。

その後、カリウム値は正常値で推移し、食事摂取の改善とともにアスパラカリウム散の内服は中止となった。

薬剤師が薬歴と検査値を併せて確認することで、検査値のさらなる悪化と想定される副作用防止のため適切な薬物治療に貢献できた。